



## 2011年サマーフェスティバル奮戦記（参加報告）

企画・地域担当 山根 行雄

本年も7月30日(土)にシャープ(株)通信システム事業本部主催のサマーフェスティバルが開催され、シャープ社友会広島支部も参加し、昨年も好評であった新鮮激安野菜と飲料の販売を行いました。新鮮激安野菜は今年も早々に完売となり、又、当日は曇天で売れ行きが心配された飲料も順調に販売できましたので、当日の奮戦状況を下記報告いたします。

(社友会広島支部のホームページに沢山の写真を掲載しましたので参照ください)

### 事前準備

- ・今年もEメールにて昨年野菜を提供戴いた皆様へのお願いと、東広島在住の社友会と紅葉会の会員にも新規に提供の呼びかけをした結果、昨年を上回る多数の方々から、多品種の野菜を大量に提供頂きました。
- ・ドリンク販売については、昨年同様地元飲料業者に冷水ボックスの無償借用、お茶・スポーツ飲料・炭酸・乳酸飲料に絞り9銘柄を選び格安で購入、更に 冷水用水を知り合い業者から、無償提供をうけて販売準備完了。



### 夜店コーナー設営と開店準備

- ・午後1時、役員集合、シート・机・新調看板「ソフトドリンク & 新鮮野菜」を搬入設営、集会所からは椅子を、冷水ボックスは業者から借用搬入、野菜の運び入れも完了、注文のドリンクや無償提供の氷も届いて、夜店が完成。
- ・午後3時、紅葉会役員も加わり野菜の盛付けや、氷水をいれた冷水ボックスで各種ドリンクの事前冷却開始。
- ・店頭販売促進の青紫蘇(大葉)赤紫蘇も準備、更にサービス品の小花も準備。各種POPを貼付けて販売コーナー設営完了。・来店来賓接待コーナーのテントを張りテーブル・イス等準備して開店の準備すべて完了。

### 本番

- ・午後4時、フェスティバル開宴。愈々 ドリンク & 野菜販売の開始！！
- ・野菜は「採れたてのゴーヤ・キュウリ・トマト・ナス・ジャガイモ・玉ネギ・ピーマン・丹波黒豆〔1袋〕・もち米〔1袋〕インゲン・枝豆・シシトウ・ウリ・人参・カボチャどれも一皿100円也。「お買上げに青紫蘇又は赤紫蘇一束贈呈」と声掛けて販売開始。品薄気味のトマト・ゴーヤ・ピーマン・シシトウ・枝豆は即完売、次いでインゲン・丹波黒豆・もち米・カボチャ・人参が売れキュウリ・ナス・ジャガイモ・タマネギも順調な売れ行き、提供数が昨年の倍以上ありましたが、午後6時過ぎには全ての野菜を完売！！ ご提供戴いた皆様に大感謝です。
- ・ソフトドリンクは、冷水タンクから1本ずつ取り出し、丁寧にタオルで拭いて手渡ししながら、「冷や冷やドリンク 各種1本100円也」の呼び込みで販売開始。当日は曇天で昨年と比べ幾分涼しくスタート時は中学生向けにスポーツ飲料・炭酸飲料がポツポツ売れる状況でしたが、5時半頃から、入場者が増加と共にお茶・スポーツドリンク類の販売が伸びてきました。7時半過ぎボトル飲料が全て売切れ、次いで、炭酸系缶飲料タイプが売切れ。暑さの関係から缶飲料〔ジュース系飲料〕4種類の売りが伸びず、8時15分頃 抽選会開始時点でも若干売残りとなりました。・ドリンク販売本数では、昨年度を上回りました。売れ筋は焼物・揚物等の軽食と合う緑茶や烏龍茶やミネラルウォーター等、炭酸・スポーツ飲料も順調でしたが、曇天でやや涼しかった関係か、ジュース類はやや低調でした。・応接コーナーでは、ご来賓や旧知の職友やご家族が来店、和洋酒で乾杯、和気藹々に談笑・旧交を深めました。



### フィナーレ

- ・午後7時前後から来場者が急速に増えて会場は大勢の立見客で満杯、恒例のラッキーブレゼント抽選会になり、抽選番号の発表に来場者全員が一喜一憂して確認。其の後、最後のイベント「花火大会」。暗闇の空にくっきりと咲く色鮮やかな華を愛でながら、最後に連続打ち上げの見事な火の舞を暫し歓声を上げて観覧。午後8時45分頃 フェスティバル無事終了。



### 所感

- ・今回は特に、野菜の手配は、昨年度の提供者に加えて、一斉メールで新規提供の呼びかけを行い、フェスティバルの前日と当日にも大勢の提供者の方から、色んな種類の野菜を大量にご提供を戴き、何とか昨年同様に、野菜販売を行う事が出来ました。重ねてご提供戴いた皆様方に深謝申し上げます。
- ・また、ドリンク飲料の手配では売れ筋商品の選択や冷水ボックスの借用は、格安で仕入れできましたが、当日は天候(曇天時と晴天時日射の違い)気温・湿度に大きく左右されました。特に、今回は午前中・小雨があり、やや涼しい状況で、午後は殆ど曇天に終わり、苦戦を強いられました。次年度フェスティバルではこの2年間経験生かしてドリンク販売の売れ筋商品の絞りこみ、精度アップを図って参ります。・社友会屋台コーナー全体の販売としては、当初目論見通りの範囲に着地できました。此れも、役員全員の協力があってこそ「皆様、お疲れさまでした！！」



今年は看板を爽やかイメージにリニューアル、  
開店準備も手慣れたもので、順調に準備完了。  
汗をかきかき頑張りました。



新鮮野菜の即売には、大人や子供に家族連れのお客さんで大繁盛、今年も早々に完売しました。  
飲み物販売も好調で、一時は長蛇の列も出来るほどの人気、からりと晴れればもっと忙しかったかな？



会員の皆さんには、夏の夜のひと時、  
楽しく語り、楽しく飲んで頂きました。  
多くの会員の方々にご来店いただきまして、  
有り難うございました。



花火も上がり、これでフィナーレです。  
今年も無事、閉店出来ました。  
皆さんお疲れ様でした。



大島本部長、中川衆議院議員、  
蔵田市長にもご来店頂きました。

## 役員会便り

事務局長 松見 弘

- \* 今年も事業本部主催のサマーフェスティバル（7月30日開催）に社友会として出店。多くの方にご来店頂き有難うございました。又、野菜等の提供をして頂きました方にもお礼申し上げます。
- \* 第二回「GF塚」工場見学会を広島支部としては10月26日(水)に実施致します。すでに締め切りましたが参加申し込み有難うございました。
- \* すでにご案内の通り、秋の日帰り旅行を11月9日(水)に実施致します。今年は「姫路城観覧及び神戸市内散策」を計画しています。多数の参加をお待ちしております。（本誌11頁にも案内を掲載）
- \* 特定検診は早めに！！ 2011年度の特定健診「受診券」が皆様のお手元に送付されていると思います。有効期間内には是非検診を受けるようにしてください

## 地区役員報告

地域担当・企画担当幹事 山根 行雄

平成17年7月には地区会員数50名、今年9月末現在、153名と社友会広島支部会員総数418名の1/3を超え、6年間で3倍に増加。地区会員間の親睦交流と健康増進に向け、昨年度より、広島支部として地区活動費支援や地区委員とのWebTV会議開催等を通じて、各地域との情報ネット作りの強化や情報交換を鋭意推進中です。地区委員や社友会会員のお世話で非会員と一緒に「親睦OB会開催」や「ゴルフコンペ・釣り・山登り・花見・海水浴等の各種イベント」の積極的な取組をお願いしています。今後も、各地区会員から、支部HPや支部会報”hibiki”への投稿等もお願いし、大いに情報発信戴き、会員相互の情報交換の推進と会員の方々の活力アップに努めます。

中国四国等地区会員数			9月末現在	合計	153	6月末比	3名増
広島地区	71	山口地区	14	山陰地区	21	岡山地区	17
		四国地区					18
		内広島	47	内福山	24	関西関東	12

〔広島支部〕

- 7月22日・9月16日、支部定例役員会時、支部役員と各地区委員のWebTV会議開催、情報交換実施。

〔広島地区〕

- 7月22日、ゆうゆうウオーキングクラブ有志で由宇海岸で海水浴。
- 9月5日、ゆうゆう会世話人11名参加、「広島シティーホテル」で、本年度第3回世話人会を実施。11月19日開催予定の平成23年度「ゆうゆう会第8回懇親の集い」に向け新会員含め参加会員128名を確定。案内状発送・会費：7000円、親睦会次第（ビンゴ実施等）を取決めた。

〔山陰地区〕

- 8月15日 鳥取市内の居酒屋で鳥取地区在住OB14名が参加し、鳥取営業所OB会〔青葉会〕を開催（右の写真）し、互いに親睦旧交を温める。  
（1月と8月の毎年2回開催）

〔山口地区〕

- 松田地区委員ほか社友会会員の世話役15名、「第3回山口シャープOB会」を平成24年7月に下松市の健康センターにて開催に向け、現在は、参加者の確認中。今後、更に準備会を開催し、前回以上の参加者の動員を目指して推進中です。

〔岡山地区〕

- 池田地区委員等の世話で、年3回社友会・非社友会員合同「懇親ゴルフコンペ大会」開催していますが、9月度は、総社市の「岡山国際ゴルフ倶楽部」にて「第22回岡山SHゴルフコンペ大会」を開催し（約16名参加予定）懇親を図ります。

〔四国地区〕

- 尾崎地区委員や社友会員様等の世話で高松地区及び周辺地域在住OB数名にて、毎月1～2回の懇親ゴルフコンペを開催。8月19日は”琴南ゴルフカントリー”で9名(広島支会員3名、本部社友会員1名、現地OB他5名)参加で開催し、大いに親睦旧交を温めました。ちなみに優勝は社友会の三原英行さんでした。
- 愛媛地区では、2年に1回開催予定の「愛媛シャープ電機OB会」をOBの三好勝治氏や上松敦氏のお世話で10月16日に開催を決定。現在は参加者の確認中。

〔関西関東地区〕

- 上杉地区委員より、ご高齢家族のケア等で外出機会も多く、関東・中部・関西と広範囲に在住の会員との連絡交信が中々難しく、関東の江川さん他数名とは時々情報交換出来ていますが、今後、未交信会員との情報交換を粘り強く推進フォローの予定です。



元気に再会し祝杯、大いに親睦を深める！！  
鳥取営業所OBの青葉会

# 秋の日帰り旅行のご案内

島支部と紅葉会の合同で企画、今回は、国宝姫路城大天守修理見学施設「天空の白鷺」見学と神戸花鳥園散策に中華街(南京町)自由散策の、日帰りの旅を企画しました。

多数のご参加を戴きます様にご案内申し上げます。又、ご夫婦でのご参加も大歓迎いたします。

- \* 日 時 : 2011年11月 9日(水) 日帰り
- \* 行 先 : 姫路城(天空の白鷺) 姫路市 / 神戸中華街(神戸花鳥園) 神戸市南京町
- \* 募集人員 : 45名(定員になり次第締め切らせていただきます。)
- \* 参加費用 : お一人様 7,300 円(当日出発前に徴収致します)
- \* 申込締切 : 10月29日(土)迄に事務局必着にて申し込みください。
- \* 行 程 : シャープ第3工場出発7:15(集合7:00) → 西条(中央公民館前)出発7:30 → 西条IC → 山陽道 → 姫路西IC → 姫路城散策(11:00~12:10) → 昼食(好古園内活水軒)12:10~13:00 → 神戸花鳥園散策(14:10~15:10) → 中華街・南京町散策(15:20~16:20) → 布施畑IC → 山陽道 → 三木SA → シャープ第3工場着(20:30頃)
- \* その他 : 食事は、朝昼付き、(朝食:軽食付き(車内)、昼食:好古園内レストラン『活水軒』)

## ゴルフ

### 「こんな努力が・・・」が上位入賞への道

出口 昌孝

第142回コンペから、いよいよ夏シーズンに入る。例年このコンペには「東映シニアカップ7月予選」にも参加とあって盛況である。今年の「シニアカップ7月予選」の結果は藤原克美さんが1位入賞(昨年1位入賞は松見弘さん)で、他に7名の入賞者があり、来年3月の大会参加資格を獲得し、当同好会のレベルが評価できる。

さて、今回からちょっと報告形式をかえて「上位入賞のお三方」の「こんな努力」を添えて見ました。

◆第142回コンペの成績は、9年かけての初栄冠で唯一のアンダーパー達成と優勝おめでとう。



\*優勝:若い会員数も増え優勝のチャンスも無くあせる余りのイップス症に陥る。レッスンプロの指導のもとゴルフ基本動作とリラクセス法で楽しさ感を取り戻しました。

\*準優勝:目標はシニア杯を兼ねての練習の成果で、10月には熊本県での年輪ピックに県代表にも選出され社友会の名誉もかけています。目標ある練習を…。



\*第3位:今回はパットと寄せワンが決め手となった。スコアーキープはショットの正確さが課題として磨きをかけた。

◆第143回コンペは、立秋も過ぎたとは言え残暑の厳しさ衰へず、台風11、12号の影響か?熱中症警戒日和でした。無事コンペも終え結果は、何となく低迷ながらパープレイを先頭にひしめき合いの接戦。



\*優勝:この夏、汗をかきながらの練習に励み、前回から4年かけての栄冠を手にすることが出来た。これからも体に気をつけながら練習に励みベスト10に入るように努力のみ。

\*準優勝:6ヶ月ぶりの参加で昨年の優勝コースでもあり勝負にこだわらず同伴プレイヤーの影響を気にせず冷静にプレイできたのが勝因。



第142回コンペ(18H) (7/28東映C/C)			第143回コンペ(18H) (8/25竹原C/C)			第144回コンペ(18H) (9/22安芸C/C)		
順位	参加者	Par	順位	参加者	Par	順位	参加者	Par
1	松本(邦)	-1	1	山本(善)	0	1	高見	-1
2	藤原(克)	+1	2	明石	+1	2	藤原(克)	+3
3	亀田	+2	3	末沢	+2	3	出口	+3
4	黒田	+2	4	吉田(寛)	+2	4	山口(春)	+3
5	谷口	+3	5	猪飼	+2	5	山本(達)	+3
OUT / IN			OUT / IN			OUT / IN		
嵐 / 神野			谷口 / 藤原(克)			松本(邦) / 藤原(克)		
N.P	山口(春) / 原田	N.P	N.P	高見 / 亀田	N.P	N.P	出口 / 藤原(克)	
嵐 / 藤原(克)			佐々木 / 末沢			堀 / 奥村(恭)		
出口 / 松見			吉田(寛) / 山内			ドロー / 松浦		



\*第3位:その日のコースコンディションを読み、自分の強みを生かした戦略を立てる。飛ばない・曲がらない・を生かして2打目の良いポジション狙うのがポイント。次にパターです。ボールの転がりスピードをイメージしてのヘッドの動きの練習法を発見した事です。絨毯の上で何度も練習、練習は嘘をつかない…。

◆第144回コンペは、台風15号の進路を心配したが、当日は幸運にも晴天となり、やる気充分ながら、コース整備中のところもあり、この難度の克服が勝負かな?。



\*優勝:スタートコースでは途中のバンカーで大たたきしたが、その挽回ができ、幸運な7年ぶり栄冠となったのは実力に繋がる努力。ロングパターの好調かな…。

\*準優勝:常に高い目標を置いた練習の成果?、風の影響を受けながらも70台の目標を達成できた。今後、更に高い目標を目指し…。



\*第3位:何とか入れた上位、日ごろの練習は衰える筋肉のカバーに消え、入賞の為の更なる練習法に知恵が必要。

等々、上位入賞をされた皆さんの日頃の取り組みを紹介し、「目標・努力・成果」のサイクルを楽しみながら、今後の「励み」としましょう。

車角 裕規

パソコンメーカーは、例年春と秋に新製品を発表し、同一OSではあるものの機能強化を図った新製品を販売した。加えて、数種のグレードを設定し機能面での差別化も図り、価格帯の整備を進めた。その結果、10年を超える間に同じOSである「XP」でありながら、最上位機種と最下位機種との間に、能力の異なるパソコンが充満し氾濫した。そうした背景を考えると、「遅い」とか「不安定」とか「動かない」とか、ユーザーにとって苦痛とも言える現象が、同じメジャーで測れない感覚上の産物で比較できない「程度」とか「我慢」と同質の問題であったようだ。もともと、新たな出費を伴わないで、往年の輝きに戻り支障なく動作する環境を確保したい、という熱意が発端である。しかし、使い始めた時期の操作と、数年を超えた現在との用例の差は歴然としており、「XP」にかかる負担の差は極めて大きくなっている。かくして、「Windows の“怪”」は、解明されることなく、穏当にメモリの増設や、HDDの増設などの対応で回避したり、またはあっさり「Windows 7」に乗り換えたりしている。

この春の例会で、Oさんが「ブログ」に強い関心を示した。今や、「ツイッター」なるものも加わり、インターネットの世界に充満状態で元々のホームページを凌駕する勢いだ。膨大な情報量を必要としない限り、ウェブ上で提供される画面でページの作成が可能な「ブログ」では、ケータイでも作成・編集が可能で特にスマートフォンの登場により、この世界はさらに加熱してきた。こうした状況から、当同好会として7月度例会から「ブログ」の研究を始めた。

9月の例会で、「FC2でブログを作る 実践的研究」として、遅くとも来年3月までに会員全員が「公開」を果たす努力を行う。結果の予測は不能だが、公開の条件が揃い次第、同好会のホームページでご案内する。

9月中旬の新聞で、次期Windows の後継OSの開発情報が記事掲載された。大きな特徴は、タブレット方式でタッチパネル操作のようだ。現在のようなキーボードがなくなる？下世話の推測は意味が無いが、気になるテーマではある。

絵手紙

テーマ：残暑見舞い

川田 正勝

「立秋」今年は8月8日、秋の気配が立ち始める頃。きびしい残暑の中にも秋の訪れを感じるようになります。残暑見舞いは立秋を過ぎてから8月中に出しましょう。

「処暑（しよしよ）」今年は8月23日、暑さがやむ、という意味で朝晩は涼しく、空や風に秋の気配が深まります。この頃から秋台風のシーズンになります。

今月のテーマは残暑見舞い。特に、厳しかった今年の暑さを思いながら、早く秋の訪れを願いつつ、それぞれの思いで残暑見舞いを描きました。



丸山さん作



稲生さん作



三宮さん作



吉田さん作



平さん作



尾和さん作



森本さん作



丸山さん作



増田さん作



和田さん作



大久保さん作

## 山歩会

## あるこう会

特番 山歩会・あるこう会合同企画

### 絶景の北アルプスを満喫

東 秀次・新川 昭雄

猛暑日の続く8月4・5・6日の3日間に、第21回山歩会例会は、あるこう会との合同企画にて北アルプス乗鞍岳登山と美ヶ原高原トレッキングを実施。

- ・4日(第1日目)朝7時に第三工場を中型バスで出発。(山歩会8名、あるこう会9名 総勢17名)途中二度の交通渋滞に会い乗鞍スカイラインをゲート閉鎖時間17時の1分前に通過し乗鞍畳平銀嶺荘(2700m)に到着。
  - ・5日(第2日目)、登山組8名は早朝4時半に銀嶺荘を出発。富士見岳(2817m)の麓でご来光を拝む事ができた。その時の感激を忘れる事はできません。声を上げて手を合わせて雲海とご来光の美しさに一同見惚れて居た。あるこう会の9名も全員揃って、日の出観覧ポイントで歓喜の声を上げた。登山組は富士見岳山頂を制覇。今回目標の剣ヶ峰を目指して登山スタート。肩の小屋からは本格的なガレ場と急斜面の登山道を登った。途中朝日岳、蚕玉岳を通過しいよいよ目指す日本百名山の1つ剣ヶ峰(3026m)に7時過ぎ登頂に成功した。頂上は晴天に恵まれ、雲ひとつ無い青空、360度の大パノラマ、槍ヶ岳・穂高連峰 南アルプスの眺望を堪能、この度の登山が素晴らしい天気とメンバーに恵まれた事を感謝し下山した。
- あるこう会組は高山植物が咲乱れる花畑を散策した。



美ヶ原高原・王ヶ頭(2034m)



乗鞍畳平銀嶺荘(2700m)



乗鞍岳剣ヶ峰(3026m)

又、登山組の内3名は魔王岳(2763m)登頂して絶景を楽しんだ。



美ヶ原高原パノラマコース(2000m)

この日は10時前には全員が乗鞍岳銀嶺荘を後にし、夕方には美ヶ原高原ホテル山本小屋(1960m)到着し豪華な夕食を堪能した。

- ・6日(最終日)、王ヶ頭トレッキングには早朝のアルプス展望コースはスタート時ガスがかかり見通しが悪かったが、王ヶ頭(2034m)ゴール時点ではガスが晴れて南と中央アルプス連峰と富士山の絶景が見えた。後発のパノラマコース組では、残念な事にガスが出て山並みは望めなかったが、牛や馬が草を食む高原のひと時を楽しむことができた。10時頃に美ヶ原高原ホテル山本小屋を出て帰広の途に着いた。バスでお互いの健闘を称え、元気でまたの再会を誓い午後8時30分第三工場に到着し解散した。

この度の山歩会例会の成功と、あるこう会の協力で数多くの幸運に恵まれ、楽しい山行とトレッキングに大満足の旅行が出来た。来年度の特番企画にご期待ください。

## ダンススポーツ

### 「厳しい夏季レッスンと楽しい講師や元講師の会員クラブとの交流体験」

新林 達人

7月・8月は、汗対策と暑さに対する忍耐の時期である。練習場の体育館の中は、室内温度38度で、館内にいると体を動かすだけで汗びっしょりになり、シャツを絞れば濡れタオルと同じ位に汗が水の如く流れ出る。窓は開放の為、オニヤンマが飛び込んできたり、蚊には狙わたり環境で大変な忍耐を要し、扇風機の風で涼を取るのが空しく感じる。又、モダンの練習は動きが緩やかなので幾らかでしたが、ラテン系では動きが激しく汗が床に滴り落ち大変だ。しかし、良い事に脂肪が燃焼するのか、練習後は体重が3キロ程度落ちており、ダイエットの効果は抜群だ。でも、このような暑さでは、熱中症が心配であり、講師の先生にも気の毒なので、7月末から8月・9月は練習を休みとした。練習の代わりに、7月26日夕方からの竹村先生主催のパーティに参加した。参加者は30人程で、パーティーは和気藹々とした雰

囲気で、華やかで楽しかった。ダンスはラテン系が多かったが、私たちが習っているステップが通用する。時には、クイックやスローも交えてのパーティーで、2時間程が瞬く間に過ぎた。次回は全員で参加したいものだ。また、元講師の古西、高藤先生の教室にも行き軽やかな踊りを見学した。



猛暑さの中、熱中症を気にしながらのレッスン、体調には気をつけて！

杉山 健

囲碁同好会では、昨年8月度の例会よりそれぞれの対局の結果を「対局カード」に記入し提出して貰うようにしました。対局結果を一覧表に集計することで、自分の実力がどの位かを知ることが出来、「棋力の向上」につなげて貰うことが狙いです。今年の5月度より児玉義雄さんが退職を機に入会され、常連のメンバーが8名に成りました。「対局カード」の集計を始めてから、この9月度の例会までで“76局”の対局結果の集計が出来ました。集計結果を見て、定期的に段・級位を見直して行きたいと思っています。

今回の例会報告は、囲碁同好会のメンバーより、囲碁・将棋同好会の発足から昨年までリーダーを務めてくださった山口春香さん、当同好会の常連メンバーの河上國男さん、囲碁を始めてまだ日の浅い由井善明さん、新入メンバーの児玉義雄さんの4名の方に登場頂き、それぞれの囲碁に対する思いをご紹介頂くことにしました。

◆山口春香さん：2002年11月から約7年半、当同好会のリーダーを務めさせて頂きましたが、昨年の7月、実力ナンバーワンの杉山さんにリーダーをお引き受け頂き、今はゆったり対局を楽しませて頂いています。それにしても最近ちょっとショックを受けています。それは今からおよそ40数年も前のこと、独身寮で一緒だった鈴木弘幸さんと時間を見ては勝ったり、負けたり“へぼ碁”を楽しんでいたのですが、その鈴木さんも当同好会に参加するようになった事から、私の頭の中では、自分は現役引退後、今まで囲碁にはそれなりに打ち込んできたので鈴木さんなら軽～い！と思って対局。所が結果は連敗に継ぐ連敗、ショック、ナンデヤネン？、今では世間話や、昔話をしながら楽しい時間が過ごせればそれが一番！と変に納得している次第。



◆河上國男さん：「石の強さ」碁を始めてから年月だけは経っていますが基本が出来ていないがためにどなたと打ってもみじめな結末が待っています。自分が打った石が、はじめのうちは狙い通りの力を持っていてくれそうに思えるけれども、手が進むうちに何となく弱くなり、小さくなり、生きるのがやっ



と、と云う状態に追いやられてしまいます。そうなると他へも波及していい勝負には持っていきません。特に上位者と対戦する場合、先に石を置かせて貰うので、初めは大きくと希望を石に託すわけですが、読みが不足しているのでしょうか欲張り過ぎをすぐとがめられ分断されて、かえって不利な局面と成ります。そうはいつでもあまり控えすぎると戦いに成らないので、石の働きを的確につかんで出来るだけ大きく広く打てるようになった時、石も強く碁も上達してくると希望を持ちながら励んでいきます。

◆由井善明さん：囲碁をやり始めて2年半ですが参加率70%位で中々上達できませんが、先輩方の指導によりやっと8級程度と成りました。



◆児玉義雄さん：囲碁は、40年余り前の学生時代に覚え、卒業以来向き合うことはありませんでしたが、2011年5月に退職し社友会に入ると共に、囲碁同好会にお世話に成っています。参加初日は、久しぶりの対局では頭に少しばかりの疲労が残り、頭の活性化に役立っているとの実感が有り、今後も可能限り続けて行きます。



以上、4名の方の囲碁に対する取り組み状況や考え方をご紹介いたしました。これを機に囲碁に興味を待たれた方は、毎月の第一月曜日の10時30分からの社友会室での例会を覗いてみて下さい。

釣り

イダコ釣りの報告

川田 正勝

★9月23日(金)快晴、対象魚：イダコ  
・釣り場：多度津沖、・船：晴光丸、・釣人：8名

当日は朝5時半に安芸津港を出船しましたが、台風が過ぎた後で寒いくらいの朝でした。ポイントの多度津沖までは約2時間で、波もなく穏やかな海で、美しい朝日を眺めながらの素晴らしいひと時です。釣り場に到着し7時半には釣りを開始。イダコ釣りは、水深も7～10m

位で、タコが仕掛けのに抱きついてきたら竿先が重くなるので、巻き上げて取りクーラーに入れるだけの繰り返しで、仕掛けも簡単で誰でも釣れる楽しい釣りです。今回は今年の初釣りだったので、型も小さく数も今いちでしたが、一人で100匹前後の釣果でした。又、大きなマダコを釣りあげた人も居ました。これからがイダコ釣りの本番であり、10月にもう一回いく予定です。皆さんの参加を期待します。



今年初のイダコ釣り、型は小さいが美味そうだなー？ みんなニッコリ！ マダコも釣れたぞー！



## 平成あそび隊

### 瀬戸内の魚料理を堪能

松岡 良明

平成あそび隊は、安浦町で新鮮な瀬戸内の魚料理を食べました。何処が良いかと隊員の意見を聴くと、魚が良いと答えが返って来ました。当初は、温泉を考えていましたが、提案した場所は遠方で、日本海側は海水浴の人達で、道路の混雑も予想されるのでキャンセルとした。

・2011年7月17日天候は小雨、第三工場に集合し10時に出発して安浦町まで約一時間。途中で稚児公園に立ち寄る。「あるこう会」の人達が後日の計画で予定している場所で下見をする。場所は「グリーンピアせとうち」の手前にあり、「春夏秋冬」に利用の出来る静かな公園でした。ここから四<sup>キ</sup>程で食事処「潮屋」に到着。席に着いたのは11時過ぎで、こじんまりした和室を10名で予約をしていたので、既に席は用意されていた。料理の注文は、店のメニューで、各自でお好みの料理を注文した。「あるこう会」は忘年会の会場として、条件の交渉をしていた。流石に港町の魚料理専門店で、新鮮な魚料理に皆無口になり、料理に舌鼓を打っていました。食後は、全員で記念写真を撮る時は小雨が降ってましたが、食後のコーヒーを求め「グリーンピアせとうち」に移動。此処では、館内の喫茶室で食後のコーヒーを味わいながら、約一時間の談笑し食後の休憩を楽しみました。

今回は肉料理ではなく瀬戸内の「魚料理で「スタミナ」を付ける事にしたが、魚料理を食べるのも良い事でした。

・8月と9月の活動は休止して、秋の涼しい時候には、会員皆さんの意見を聴き活動の実施計画の予定です。



魚料理を堪能し大満足でニッコリ

## アマチュア無線

### 私のアマチュア無線史

菅崎 英雄

昭和36年4月(中学2年の時)に出力10WでJA4AZC局を開局しました。翌年初めて外国(ロシア)の局と片言の英語とハム用語を使って何とか交信できたのを覚えています。学生時代は、何台かの無線機器を作製したり、電波関連の数種類の月刊誌に連載記事を投稿したりしながら、上級ハムの免許も取得しました。シャープに入社してから定年までは局免は更新していましたが、ほぼ休止に近い状態でした。定年後すぐに第1級アマチュア無線技士に許されている最大出力1KWで再開しようと計画。今住んでいる西条の家からは大出力の電波が出せないのので、田舎の実家に1KW対応の設備を整え、中国総合通信局の変更検査を受けました。検査は合格という事で、その場で検査合格証と1KWの新免許状を係官から手渡しで受取ました。現在は、固定局は実家で、移動局は西条の家でと2局を開局しています。西条は移動局であり50Wを超える出力が出せないのので不便であり、



上: そびえ立つ鉄塔は出力1KWアンテナ群  
右: 自慢のシャンクは出力1KW対応

今年中には、再度出力100~200Wの固定局を開局し、全部で3局を開局する予定です。毎週日曜日の午後9時からは、145.3MHzでのシャープアマチュア無線クラブのロールコールにも参加させてもらっています。今年が開局50周年をむかえ、これからも日本や世界のハムと交信しながら、そして送受信機や真空管ラジオなどをリニューアル、新規作製、各種のアンテナの作製実験、雑誌に投稿などをしながらアマチュア無線を楽しんでいきたいと思っています。



今年の夏の撮影会は、まず、6月の末に山口県の錦川流域で、新緑の寂地峡と岩国錦帯橋の鶺鴒を撮りに出掛けました。寂地峡では新緑に包まれた滝などを撮影し錦帯橋へと移動。錦帯橋では鶺鴒観光船を貸切り、篝火に浮かぶ鶺鴒の綱さばきを収めるべく出船するも、灯りは篝火だけの明るさと揺れる船上での撮影とあって、大変苦労しました。

・9月の撮影会は、島根県益田市の柿本神宮にて行われる流鏝馬神事の撮影に出掛けました。今回の流鏝馬撮影は、過去あまり経験の無い流し撮りに挑戦しようとのテーマで、各自撮影会の前には自動車や電車を流鏝馬の馬に見立てて練習を行い本番を迎えるも、当日は



寂地峡案内所前での記念撮影



見事な鶺鴒の綱さばき

は神事開始直前まで晴れていた天气が台風12号の影響から雨が降り出し、悪天候の中での撮影となり、悪戦苦闘の中での初めての流し撮り撮影会となりました。

又、夏と言えば花火であり、有志が誘い合って各地の花火大会に出掛けては、記憶に残る作品創りに取り組みました。特に、錦帯橋での錦川水の祭典や宮島水中花火は場所取りが超激戦の花火大会で、その中で作品が創れた事は大きな成果であったと思っています。これからも新しい撮影技法等に挑戦し、一味違った作品創りに挑戦してまいります。



通常のカメラ固定で撮影してみました



流し撮りで射手と馬を狙い撮影



宮島の水中花火



錦川水の祭典（錦帯橋）

**東広島合同写真展への来館御礼**

9月14日に開幕した写真展も9月25日に無事閉幕致しました。開催中は、社友会始め紅葉会の皆様方にも多数ご来館頂き有難うございました。お陰様で期間中の来場者数は717名で盛況の内に終了できました。

**ボウリング**

**第52回大会は村上さんが好成績で優勝**

牛田 晴雄

平成23年度第52回大会を9月10日(土)10時より賀茂ボールで開催しました。当日は秋の涼しさを期待していたが、台風14号の影響でむし暑く、厳しい残暑の中での会場入りとなった。大会参加者は20名(社友会13名、紅葉会2名、招待会員5名)で、参加者全員の体調を確認し、準備体操の後競技をスタートした。大いに盛り上がった大会で、1日を楽しく過ごすことが出来た。

競技ルールは前回までと同じく、3ゲームの合計得点で競った。結果は、優勝：村上孝一さん691点、準優勝：藤田喜弘さん631点、第三位：喜田栄禧さん596点と、好成績を収めた。ハイゲーム賞は、男子の部は藤田喜弘さん224点、女子の部は三間裕子さん182点。ノーミス賞は、村上孝一さん、藤田喜弘さん、坂田広海さんで、他に数名の選手はあと一步の所でノーミス達成ならずで、達成者はこの3名でした。

今大会ではスプリットが出やすいレーンコンディションであり、レーンコンディションの把握に苦戦を強いられたが、参加者全員が奮闘し、一投一投の結果を称え合いながら、無事に大会を終えることが出来た。

\* 上位6位までの成績(3ゲーム合計点HDCP含む)敬称略

- 優勝 村上孝一 691点、 準優勝 藤田喜弘 631点、
- 3位 喜田栄禧 596点、 4位 牛田晴雄 577点、
- 5位 出口昌孝 571点、 6位 三間裕子 567点、



残暑をも吹き飛ばす熱戦後の勇者？



準優勝 藤田さん 優勝 村上さん 第3位 喜田さん

ものづくり同好会の7月は、通常通り4回の活動行い各自作品を制作しました。8月は暑さが厳しいため、ものづくりの会は夏休みの休会。この夏休みの間は、毎年テーマを決め特別活動をしています。

**第一部刃物砥ぎ講習会**は、包丁、ナイフ、ハサミ、剪定ハサミや、木工工具のカンナやノミ等の様々な刃物が持ち込まれ、これ等の砥ぎ方の講習を行いました。刃物は種類によって砥ぎ方に違いがあります。包丁にしても両刃と片刃があり、研ぐ時に刃を砥石に当てる角度が微妙に違います。又、砥石も粗砥石、中仕上げ砥石、仕上げ砥石等の色々な種類があります。ハサミの砥ぎ方も色々ノウハウがあり、今回の講習会でそれらが理解できました。参加者は、汗をかきながら熱心に砥石と格闘していました。この講習会を契機に今後は家庭サービスがいつでも出来るものと思ひ有意義な講習会になりました。

**第二部楽しみの食事会**は、そうめん流し、豚しゃぶ、餃子等の料理を調理担当の手際良い調理で準備をしてもらいました。又、特別メニューとして鮭、チーズ、シシャモ、ウインナーの燻製も賞味しました、この燻製は、前日から味付けし、当日の早朝から手作りの回転式天日干し装置で半干しにした食材を、手作り燻製炉にて約3時間かけて、桜のチップにて燻製にしたものです。これ等の料理を参加者全員が食し楽しく語り、最後はよく冷えた大きなスイカのデザートで夏の暑さを吹き飛ばし、一本締めめの掛け声で特別活動を終わりました。

右: 研ぎ方の  
ノウハウを伝授中



左: 早速実践、  
砥石と格闘中

右: どんな!  
切れる様になった?  
なに!、錆が取れただけ!



右: 料理を堪能し、  
楽しいひと時



左: 美味そうだー!  
(手作り燻製器内部)



右: これも手づくりの  
回転式天日干し機

### 新入会員の紹介

平成23年7月1日～9月末までの入会者 敬称略

- いぼらき のぶゆき  
茨木 信幸 No.5495 通信システム事業本部 CS推進センター
- いしだ しんいち  
石田 真一 No.5499 システムデバイス第3事業部 品質保証部
- はんだ よしひこ  
半田 義彦 No.5504 通信システム事業本部 事業戦略推進室
- おおたに りつ  
大谷 律 No.5535 通信システム事業本部 第一生産部
- ながたに よしひろ  
長谷 快洋 No.5540 電子デバイス(本) 第1生産部
- しんがき ひであき  
新垣 英明 No.5542 通信システム事業本部 販売推進部
- あかぎ かおる  
赤木 薫 No.5566 通信システム事業本部 第2品質保証部
- ないとう つねお  
内藤 恒夫 No.5567 シャープアメニティシステム(株) 岡山営業所
- まつもと かずこ  
松本 和子 No.5568 通信システム事業本部 生産部
- かんの たかし  
冠野 隆 No.5569 電子デバイス(本) 生産管理部
- かねこ こうじ  
金子 講治 No.5577 通信システム事業本部 総務部

広島支部会員数 418名、平成23年9月末現在

### 追悼

原 誠吾様 (享年65才)  
内山 貞男様 (享年60才)

はら せいご

広島支部会員、原 誠吾 様(会員番号3417)が8月30日、  
うちやま さだお  
内山貞男 様(会員番号5277)が8月31日に、ご逝去されました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

シャープ社友会会員数 9月末日現在 **4,813名**

本部	2,988名	東北	115名	栃木	385名
東京	601名	中部	173名	広島	418名
九州	133名	2011年6月末比 40名増			

### 広島支部行事予定 2011年10～12月

- 10月26日 第2回グリーンフロント堺工場見学会
- 10月28日 定例役員会
- 11月 9日 秋の日帰り旅行(姫路城他)
- 11月25日 定例役員会
- 12月28日 定例役員会 / 年末大掃除

地域の福祉活動に携わる

広島地区会員 俵 浩一郎

4年ほど前に、広島市安佐南区「山本社会福祉協議会」のお手伝いスタッフとして、一人暮らしの人を対象とした『ふれあい いきいきサロン』のお世話をするようになりました。最初は3ヶ月に1回のお手伝いでしたが、1年経つと「山本社会福祉協議会」を組織化する事になり、愚生が「山本・春日野地区 社会福祉協議会」の福祉活動委員長に選出されました。

「ふれあい いきいきサロン」は65歳以上の高齢者を対象にした会費（参加費）300円の交流の場です。当会では地区の情報提供や高齢者の関係する出来事を伝えると共に、簡単な体操等を行ったり、参加者全員が共に、和気藹々に団欒しながらの昼食会を行っています。この様な流れで毎月やってきましたが、何となく中味が物足りないとの思いから、新しく「トランプ」や「あや取り」「折り紙」教室を定番として採用しています。



賑やかにゲームの真っ最中

又、ハーモニカの伴奏で懐かしい「童謡・歌謡曲・唱歌」を参加者全員で合唱する事にしました。暫くは、この方法で運営してまいりました。更に、世話役のご提案で、ボケ防止の暮らしのテクニックの習得も兼ねて、2年前から、「紙芝居」を導入して、手話による手を動かしながらの合唱を取り入れる事に成功。現在では、指・体・頭を使いながら、参加者全員が楽しめるサロン行事となりました。4月は「花見会」、11月は「もみじ祭り」を開催して、近くの良く整備された里山へ出かけ、素晴らしい景色とボランティアによる演芸を満喫していただく特別屋外サロンを開催。更に、12月は山本小学校6年生20名の特別参加による「忘年会&クリスマス会」も実施しています。

お陰様で「ふれあい いきいきサロン」では、参加者が年々、増えてきています。今後も、このボランティア活動を通じて地区の方々と絆を更に強めて参りたいと念願しています。



楽しく和やかな”もみじ祭り”の一コマ(昨年)

社友短信 重なる偶然と幸運に恵まれて

車角 裕規

昨年の10月、紅葉のカナダ観光に出かけた。観光の初日は、先年、冬季オリンピックが開催されたバンクーバーだったが、閉じられていたり無人の施設や、公園で都会としての街並み観光に食傷気味になってきた。夜宿泊するホテルへ移動する前に、当初より予定のスタンレーパークでトイレ休憩。バス指定の駐車場から、目的の場所まで少々距離があり公園内を散策する形になった。と、芝生を鴨らしき鳥が2羽程。少し近づいてみたが人間に関心を示さない。餌をついばみ続けている。鳥の数が増え、4羽となり5羽に。縦隊で右へ左へ。彼らの動きに合わせて、私も右へ左へ彼らとの距離を保ったまま移動。先頭から2羽目が、しきりに頭を上げ下げする。多分、5羽の家族だろう。その2羽目が母親か。そんな推測をしていると、彼らの後方に公園内を縦断する歩行者が現れた。当然、鴨の家族は一斉に飛び上がった。撮影が出来たのは、その時その場所に居たからだが、この様な光景に遭遇したのは幸運としか言いようがない。

こうして撮影した写真を、今年の第63回広島県美術展に応募した。結果は、期待した通りの入選だった。昨年、熊本県西原村の「山の神まつり」の、夜の山焼きで初入選し2年連続となった。尚、審査頂いた方々には申し訳ないのだが、今年の第33回二科会写真部広島公募展に、本命に加え急遽追加出品した作品が入選してしまい、いささか呆然としている。いつまで幸運が続くかは神のみぞ知るで、“下手な鉄砲も数撃ちゃ当たる”の伝承は疑いの無いところだ。他の人々より撮影行の機会を、多く実践すれば幸運も付随すると信じ、これからも樂觀的に鋭意シャッターボタンを押し続けたい。



第63回広島県美術展入選作品



第33回二科会写真部広島公募展

編集後記：猛暑も盛りを過ぎ、過ごし易い気候に成ったが、夏バテの影響が原稿の整理がスムーズでなく、発行直前まで四苦八苦したが、何とか間に合った。皆さんのご意見をお待ちします。食欲と運動に読書の秋、体重は増やさず夏バテ解消と健康増進に励みましょう。